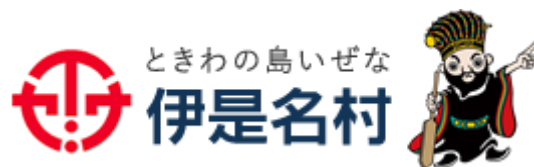

学校教育施設等長寿命化計画

【概要版】

令和3年3月



沖縄県 伊是名村教育委員会

目 次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
(1) 計画策定の背景および目的	1
(2) 位置付け	1
(3) 計画期間	1
(4) 対象施設	1
2. 学校施設の目指すべき姿	2
3. 学校施設の実態	3
(1) 学校施設の活用状況等の実態	3
(2) 学校施設の老朽化状況	5
4. 学校施設整備の基本的な方針等	7
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	7
5. 対策の優先順位と長寿命化	8
(1) 対策の優先順位の考え方	8
(2) コストの見通しと長寿命化の効果	9
6. 長寿命化計画の継続的運用方針	10
(1) 情報基盤の整備と活用	10
(2) 推進体制等の整備	10
(3) フォローアップ	10

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 計画策定の背景および目的

わが国では世界に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり、多くの地方自治体では年少人口・生産年齢人口の減少、財政状況悪化が懸念されています。一方で過去に建設された公共施設等がこれから大量に更新時期を迎えます。総人口減少、少子高齢化に伴う人口構造の変化に伴って将来の公共施設等の需要の変化も予想されるため、施設の長寿命化・再配置等の対策が喫緊の課題となっています。

そこで国は平成 25 年 11 月にインフラ長寿命化基本計画を策定し、地方における行動計画として各自治体に対し、公共施設等総合管理計画の策定を要請しました。本村も平成 28 年度に「伊是名村公共施設等総合管理計画（以下、管理計画）」を策定し、将来の公共施設等のあり方について全体的な方針を定めました。

本計画では施設ごとの基本方針・方向性・対策内容や対策時期などを定め、本村が将来に亘って学校教育系施設を適正かつ安全にマネジメント（管理・運営）し、今後の財政負担の軽減・平準化を図ることを目的とします。

(2) 位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」、地方における行動計画「伊是名村公共施設等総合管理計画」の下位計画に位置付けられる施設類型単位の具体的なアクションプランであり、学校教育系施設の長寿命化計画は所謂、個別施設計画と同義の計画となります。

(3) 計画期間

本計画の期間は学校教育系施設の更新予定等を鑑み、令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間とします。

(4) 対象施設

本計画の対象施設は、以下の 4 施設とします。

施設名	所在地
伊是名小学校	沖縄県島尻郡伊是名村字仲田 1163
伊是名中学校	沖縄県島尻郡伊是名村字仲田 1344
伊是名幼稚園	沖縄県島尻郡伊是名村字仲田 1162-1
伊是名村学校給食センター	沖縄県島尻郡伊是名村字仲田 1162-4

2. 学校施設の目指すべき姿

国や県の教育振興基本計画や学習指導要領を踏まえながら、「ときわ子どもプラン」の基本理念である「子どもの羽ばたく力をみんなで育むしま 伊是名村」の実現に向けて以下の3項目を学校教育系施設の目指すべき姿とします。

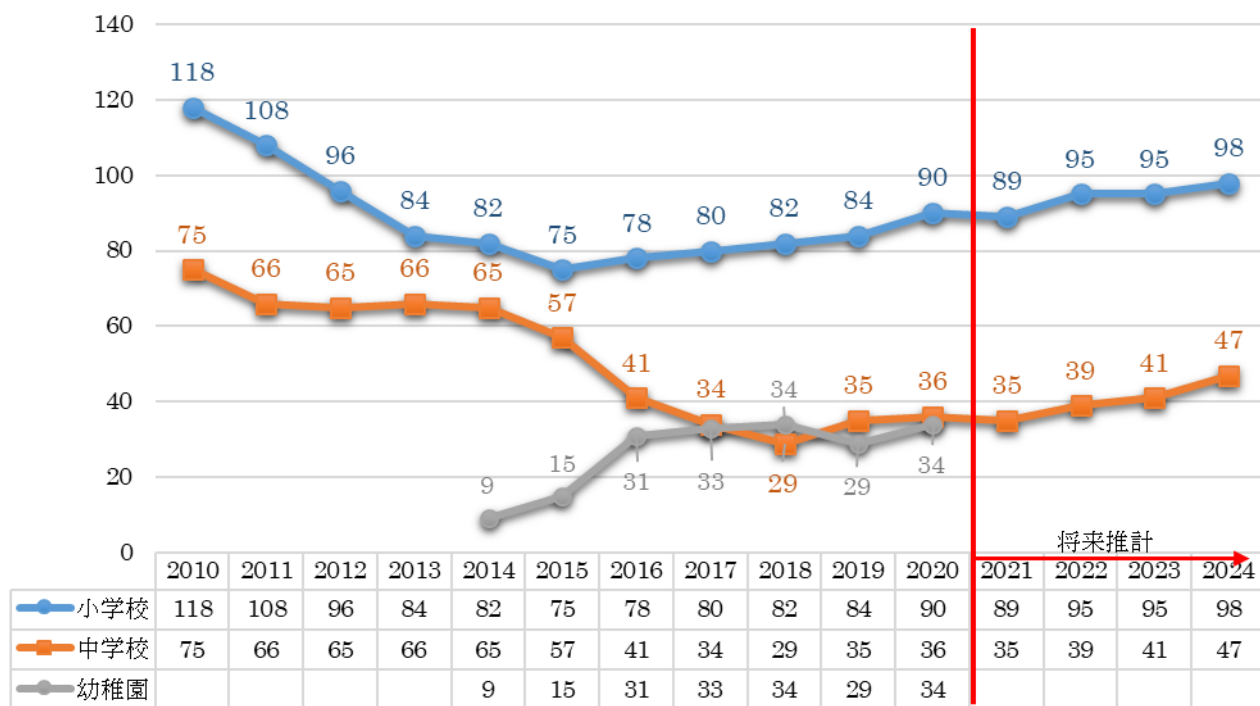
- (1) 安全・安心な学校施設
- (2) 学習活動への適応性に配慮した環境づくり
- (3) 地域連携の拠点施設



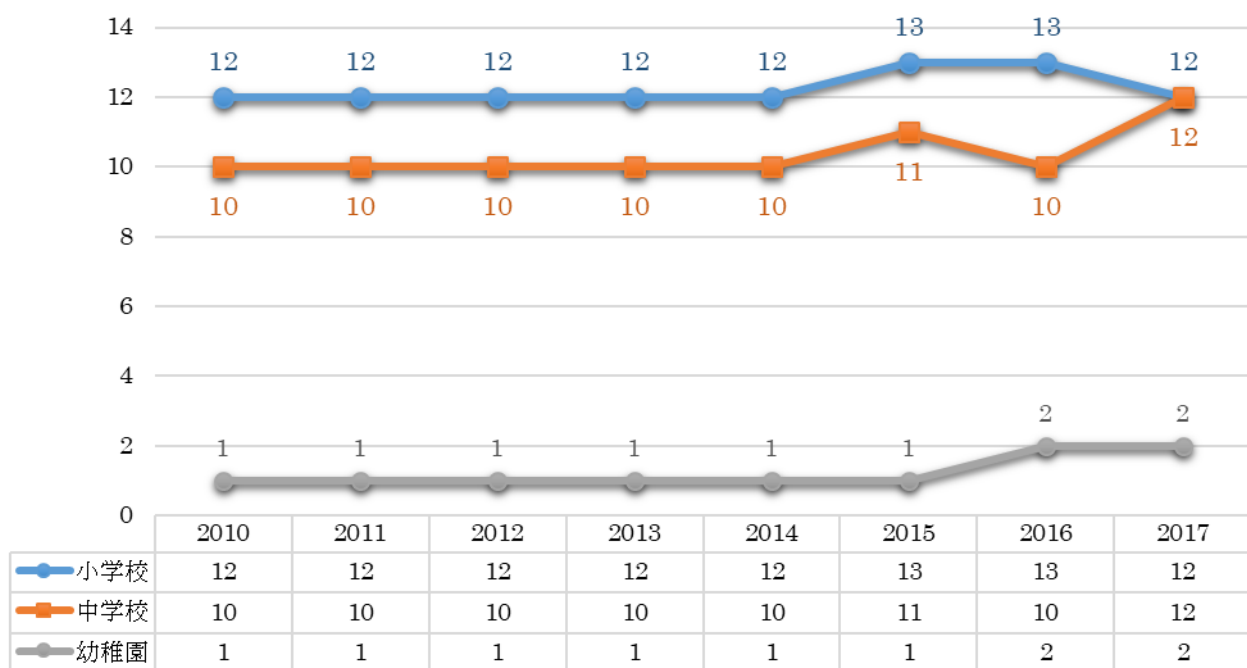
3. 学校施設の実態

(1) 学校施設の活用状況等の実態

① 児童・生徒数（単位：人）



② 職員数（単位：人）



出典：伊是名村教育委員会

③ 施設関連経費の推移

図表 施設管理費（単位：千円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
幼稚園				891	2,522
小学校	4,045	4,359	5,034	20,381	5,544
中学校	3,278	3,711	6,122	14,767	4,706
給食センター					
合計	7,323	8,070	11,156	36,039	12,772

④ 学校施設の保有量

施設名	建築年度	延床面積	耐震基準	耐震診断	改修状況
伊是名小学校					
① 校舎・幼稚園舎	1980	1,908 m ²	旧耐震基準	—	
② 体育用具倉庫	1982	63.00 m ²	新耐震基準	—	
③ 渡廊下	1997	87.00 m ²	新耐震基準	—	
④ 便所	1997	32.00 m ²	新耐震基準	—	
⑤ 体育館	1997	901.00 m ²	新耐震基準	—	
⑥ 特別教室	2000	553.00 m ²	新耐震基準	—	
伊是名中学校					
⑦ 管理室（プール）	1991	89.00 m ²	新耐震基準	—	
⑧ プール	1991	400.00 m ²	新耐震基準	—	
⑨ 体育館	1998	1,138.00 m ²	新耐震基準	—	
⑩ 校舎	2015	2,436.85 m ²	新耐震基準	—	
伊是名幼稚園					
⑪ 幼稚園	1983	210.00 m ²	新耐震基準	—	
伊是名村学校給食センター					
⑫ 学校給食室	1981	220.00 m ²	新耐震基準※	—	

※学校給食室は、固定資産台帳上 1982 年 3 月取得のため新耐震基準としています。

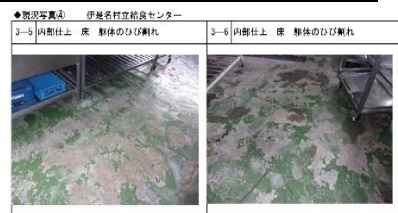
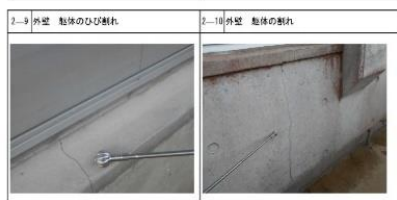
(2) 学校施設の老朽化状況

1. 劣化診断の実施

計画策定にあたって学校施設の長寿命化計画策定にかかる解説書（平成 29 年 3 月 文部科学省）に基づいて令和 2 年 11 月に一級建築士による劣化診断を実施しました。

2. 現地調査による判定結果

	施設名称	総合判定 (100 点満点)	劣化度診断のまとめ
①	伊是名小学校 普通教室	47 点	平均=52.5 点 普通教室と特別教室は 40 年経過しており、爆裂が各所にあり、モルタル剥離・落下の危険性あり。 ⇒建替えが必要
	〃 特別教室	56 点	
	〃 体育館	60 点	
	〃 部室、屋外トイレ、渡り廊下、給食室	47 点	
②	伊是名中学校 校舎	84 点	平成=82.25 点 安全上、機能上の問題点は無く、全体に良好な状況にあるが、劣化箇所の補修の必要あり。 ⇒継続活用
	〃 体育館	81 点	
	〃 体育倉庫	93 点	
	〃 プール専用付属室	71 点	
③	伊是名幼稚園	44 点	躯体のひび割れが見られ、防水上も問題点があり。 床仕上げも劣化箇所があり。 ⇒建替えが必要
④	伊是名村立給食センター	36 点	躯体のひび割れ・爆裂が見られ、防水上も問題点があり。 ⇒建替えが必要



『劣化度診断シート』

調査日: (西暦) 2020 年 11 月 20 日

施設名	伊是名村立給食センター			所属課	教育委員会		記入者	竹下 幸栄	
棟名					建築年度	昭和 56 年度(西暦 1981 年度)			
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	222.00 m ²		階数	地上 1 階 地下 0 階			

部位	仕 様	工事履歴(部位更新)		劣化状況		特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☐ 降雨時に雨漏りがある			C
	☒ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水			☒ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	☒ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☒ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☐ その他の屋根 ()			☒ 樋やルーフトレンに不具合がある			
				☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☒ 塗仕上げ			☐ 鉄筋が見えているところがある			D
	☐ タイル張り、石張り			☐ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル			☒ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ タイルや石が剥がれている			
	☒ その他の外壁 (RC造)			☒ 大きな亀裂がある			
	☒ アルミ製サッシ			☒ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ			☒ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	点検項目	改修等年度	特記事項(改修内容及び点等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☒ 老朽改修		躯体のひび割れが確認される。	D
	☐ エコ改修			
	☐ トイレ改修			
	☐ 法令適合			
	☐ 施設LAN			
	☐ 空調設備			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☒ 構造体の耐震対策		新耐震改修が未整備。	
	☒ 非構造部材の耐震対策		新耐震改修が未整備。	
4 電気設備	☐ 分電盤改修			A
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修			A
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
36/100点

4. 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

①学校施設の長寿命化計画の基本方針

各施設が耐用年数を超えて長く安全に利用できるように予防保全に努めていきます。そのために必要な保守点検や診断、改修等を計画的に実施します。

②学校施設の規模・配置計画等の方針、対策内容の検討

伊是名小学校

「伊是名小学校建設基本計画概要」に則って建替えを行います。

伊是名中学校

近年、校舎の建替えが済んでいることから、現行配置を維持していくこととします。

伊是名幼稚園

園舎の老朽化が進んでいることから、建替えに向けて検討します。建替えの規模や配置については「ときわ子どもプラン」との整合性や将来人口推計等を勘案しながら検討することとします。なお、認定こども園として建替える案については関係機関と協議・検討していきます。

伊是名村学校給食センター

老朽化が進んでいることから、伊是名小学校建替え後に更新の計画を進めていくこととします。なお、建物の規模については将来人口推計等を参考に検討します。

5. 対策の優先順位と長寿命化

(1) 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位については下記に示す「優先順位検討の際に必要な視点（例）」を参考に検討します。

また、優先すべき工事の決定については、建物性能、利用状況及び管理運営コストなどの要素並びに施設保有の見直し状況等の観点から総合的に判断し、劣化診断（目視点検等）を実施することにより、日々最新の情報を管理していきます。

なお、現状で既に安全性が損なわれている建物や大きな機能低下が発生している建物については、設定した改修周期に到達していない場合であっても優先的に改修を実施します。

優先順位検討の際に必要な視点（例）

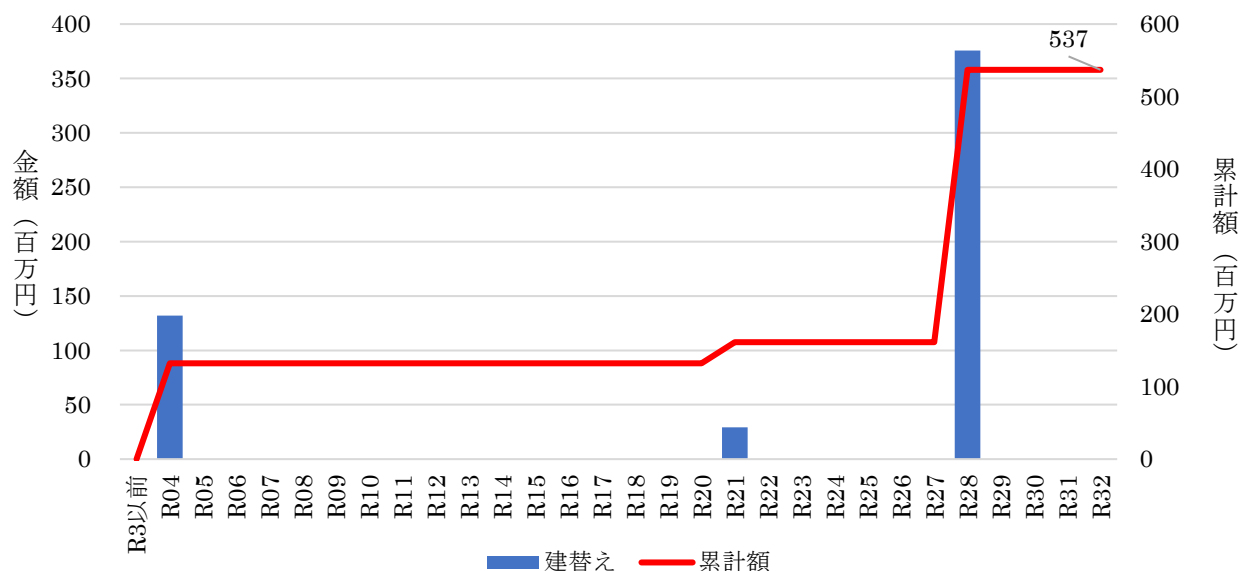
視点	優先順位を高める主な要因
物理的 観点	放置しておく利用者へ直接・間接の物理的被害や大きな施設の減失が予見されるもの 例) 外装材落下の危険性、消防設備の不備等
	敷地周辺に悪影響（騒音・振動・著しい美観の喪失等）を与えており、解消が求められるもの 例) 空調外部機器の劣化による騒音
	改修により長寿命化が明らかに見込まれるもの 例) 屋根防水の改修、外壁のひび割れ補修、外壁塗装、建具廻りの防水及び鉄骨の塗装などの躯体の構造的強度低下を防ぐために行う改修
機能的 観点	設置当初の本来の要求事項が満たせなくなっており、解消が求められるもの 例) 建具不良による立ち入り不可能な室、設備機器の故障による機能の支障等 災害発生時を想定し健全な状態を特に維持しておくことが必要と判断されるもの
経済的 観点	予防保全により、将来のライフサイクルコストの低減が見込まれる状況にあるもの 例) 鉄筋の露出などがあり、放っておくと大きな機能低下が起こり大規模な改修が必要となることが予見されるもの
社会的 観点	ニーズの変化により新規整備、増改築又は用途転用が必要なもの ユニバーサルデザインの考え方から安全性・利便性を確保するための改修が必要なもの 例) スロープの設置、段差の解消、エレベーターの設置、多目的トイレの設置など 環境負荷低減に貢献するもの 例) LED 電灯への交換、負荷の少ない熱源機器への交換など

(2) コストの見通しと長寿命化の効果

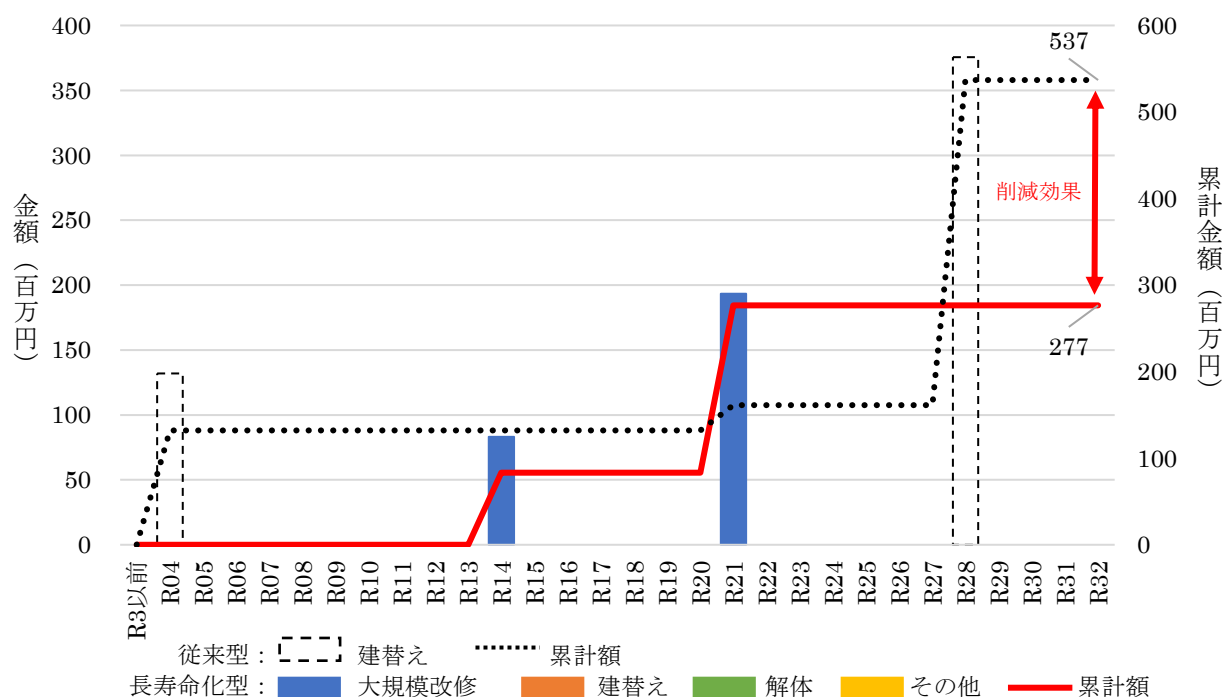
耐用年数到来年度に建替える整備方法を従来型とし、機能の向上と回復に向けた修繕・改修を計画的に行う長寿命化型（文部科学省推奨）による場合のコストをそれぞれ試算しました。

その結果、従来型の改築中心の場合の 17.9 百万円／年より、約 48%減少することが期待されます。

【従来型】今後 30 年間のコストは、5.4 億円（17.9 百万円／年）かかることが想定されます。



【長寿命型】長寿命化（築 40 年で大規模改修）により 80 年間建物を使用した場合、今後 30 年間のコストは 2.8 億円（9.2 百万円／年）となります。



※小学校、給食センターおよび幼稚園は建替えるを予定・検討しているため、中学校のみ対象として長寿命化した場合で試算しています。

6. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

公共施設等総合管理計画と連動して、施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営費、改修・補修等の工事履歴や劣化情報等の一元管理を行っていきます。

(2) 推進体制等の整備

施設所管課を中心に、本計画に基づいた施設マネジメントを行っていきます。

また、庁内推進体制として既存の庁内会議と施設所管課の連携を意識し、効果的な体制整備を推進していきます。

(3) フォローアップ

今後は、詳細な事業計画や事業費を精査していくために、事業の進捗状況、劣化調査等の結果を反映しながら、定期的な見直しを実施し推進することとします。



伊是名村 学校教育施設長寿命化計画【概要版】

令和3年3月 発行
伊是名村教育委員会

〒781-3692 沖縄県島尻郡伊是名村字仲田 1385 番地 1
TEL : 0980-45-2318 (産業支援センター内) FAX : 0980-45-2144
URL : <https://vill.izena.okinawa.jp/>
